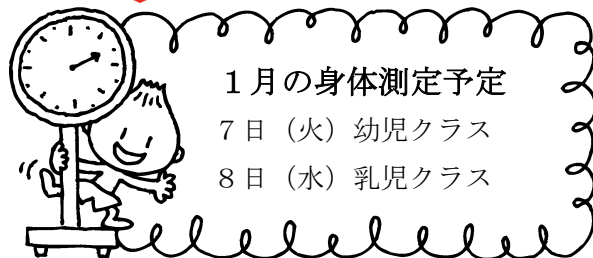
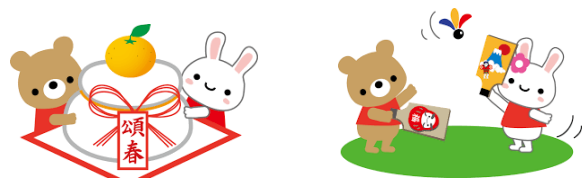


ほけんだより 1月号

早いもので、あと少しで年末です。今年は何年が「令和」に変わり、色々変化があった年でしたね。今年一年、保護者の皆様には、様々な面でご理解とご協力を頂きありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。年末年始は、生活リズムが乱れがちになりますが、元気に新たな年を迎えることができるように、健康管理に気を配っていきましょう。



1月の身体測定予定

7日(火) 幼児クラス
8日(水) 乳児クラス

<先月の感染症(11月20日~12月20日)>

インフルエンザA型	幼児3名
嘔吐・下痢症状(感染性胃腸炎を含む)	幼児6名 乳児20名
溶連菌感染症	乳児2名 幼児1名
流行性角結膜炎	乳児1名
マイコプラズマ肺炎	幼児1名
頭じらみ	幼児2名

~12月はインフルエンザの感染者が出ました~

12月は、幼児クラスでインフルエンザA型に感染したお子様がでました。これから流行期に入りますので注意が必要です。保育園では、感染者が増えた場合、出来る限り乳児クラスと幼児クラスの接触を避けるように保育を行い、手洗い、消毒、換気、湿度管理などに気を配っています。しばらくの間ご協力をお願い致します。また、インフルエンザに感染した場合は、登園する際に医師の書いた「意見書」が必要ですので、感染した場合は必ず園にお知らせ下さい。

<12月は、「うさぎさん」「きりんさん」を対象に歯磨き指導を実施しました>

きりんさんは「歯の染め出し」を行いました。赤く染まった歯を観察し、染まった部分に色鉛筆で色を塗りました。うさぎさんは、ゴマの入ったお煎餅を食べ、歯についてのゴマを鏡で見ながら歯を磨きました。みんな、楽しんで取り組むことが出来ました!

<保護者の方々へ・・・お願い・・・>

6月の歯科検診から半年たちました。半年に1回は、かかりつけの歯科医院を受診して、定期健診を受けましょう。乳歯が虫歯になると、永久歯に影響を及ぼします。また、痛みにより、よく噛んで食べることが困難になります。虫歯があった場合は、早めに治療しましょう。

<~「感染性胃腸炎」が流行しています!~>

12月は園内で感染性胃腸炎(嘔吐・下痢症状)が流行し、お休みが多かったです。例年、11月から2月にかけての時期は感染性胃腸炎の発生が最も多くなる時期であり、今後も注意が必要です。医師の診断がはっきりしない場合もあると思いますが、嘔吐・下痢の症状がある場合は、基準を満たしてからの登園にご協力ください。

★登園基準:嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事がとれること

保育園は集団生活の場です。感染を予防するためには、保護者の方々のご協力がなくては予防が難しいため、ご協力をお願いいたします。



<<自宅でできる嘔吐物の処理方法>>

ノロウイルスをはじめとする感染性胃腸炎については、ご自宅でお子様が嘔吐したというご家庭もあるのではないのでしょうか。家庭内での感染拡大を防ぐために、嘔吐物の処理方法について学びましょう。

【用意するもの】

ビニール手袋(使い捨て)、ビニールエプロン(使い捨て)、マスク、ぼろ布、ビニール袋、ハイター(塩素系漂白剤)、バケツ

- ① 換気のために窓を開ける。子供などが近づかないようにする。
- ② ビニール手袋、マスク、ビニールエプロンを装着する。
- ③ 嘔吐物は乾燥する前に、外側から内側に向けて折り曲げながら静かに拭きとる。
- ④ 使用後のぼろ布はビニール袋に入れ、すぐに封をする。(このとき、ハイター(0.1%)を一緒に入れると消毒できるので効果的)
- ⑤ 嘔吐物の付着していた床面などは、周囲も含めて広めにハイター(0.1%)を染み込ませた布等で覆い、10分そのままにして消毒する。(金属は錆びるので、10分後に水拭きする)
- ⑥ エプロン、手袋などは外してビニール袋に入れ捨てる。
- ⑦ 最後に石鹸でよく手を洗って終了。

<ポイント>

- 自分の衣類や袖口などに嘔吐物が付いていないか確認する。(付着していた場合、0.02%の消毒液で30~60分消毒する)
- じゅうたんなど色落ちがするため塩素が使えない場合は、できるだけ高温(85度以上)のスチームアイロンで1分以上加熱する。使用したアイロンはハイター(0.1%)で消毒する。
- 嘔吐物を処理した後48時間は感染の有無に注意する。

「ハイター(次亜塩素酸ナトリウム5%)の希釈方法」

濃度	水の量	ハイター(次亜塩素酸ナトリウム)の量
0.1%	1L	50 ml(キャップ約2杯)
0.02%	5L	50 ml(キャップ約2杯)